

日本体育大学

令和7年度入学者選抜 【出題の意図・模範解答】

学部・選抜方式	児童スポーツ教育学部 幼児教育保育コース 学校推薦型選抜 一般推薦
科目	小論文

【出題の意図】

- ・電子メディアが子どもの生活や発達、人との関わりに与える影響について自分の考えを整理し、文章で表現できるかを確認する。
- ・子どもの育ちにおける遊びや体験、直接的な人との関わり的重要性について理解しているかを確認する。
- ・子どもと電子メディアとのより良い関係について、保護者や保育者など身近な大人の関わり方を踏まえながら、自分なりの考えを述べているかを確認する。
- ・電子メディアの特徴である利便性と課題の両面に注目することで、様々な角度から物事を深く理解しようとする姿勢を評価する。

【模範解答】

近年、スマートフォンやタブレットなどの電子メディアは、私たちの生活において手放せないほど身近な存在となっている。それは、子どもにとっても例外ではない。電子メディアは簡単に素早く情報を得ることができ、学習や遊びの幅を広げるという利点がある。その一方で、使い方によっては子どもの日常生活や心身の発達に影響を与える可能性があると考えられる。

例えば、長時間の使用は生活リズムの乱れにつながる。そして、身体全体を動かす遊びや人と直接関わる機会が減ったりすることが指摘されている。また、画面を通じた受け身的で一方的な刺激が中心になることで、相手の表情や仕草などから気持ちを感じ取る、推察するといった経験が不足することも懸念される。

その一方で、電子メディアそのものを問題視するのではなく、どのように関わるかが重要であるとも言われている。幼少期からの絵本の読み聞かせやごっこ遊び、自然の中での様々な体験など、実際に身体と五感を使い多くの人と関わる機会を大切にしながら、必要な時に電子メディアを活用するといったバランスを保つことで、子どもの世界がより豊かになる可能性も否定できない。

そのためには、保護者や保育者など身近な大人が子どもの生活リズムを大切にしながら、電子メディアの使用時間や使用方法を一緒に考えていくことが重要である。電子メディアの影響を踏まえつつ、子どもが安心して遊び、学び、人との関わりを通じた経験を育める環境を整えることが、子どもの健やかな成長につながると考えられる。